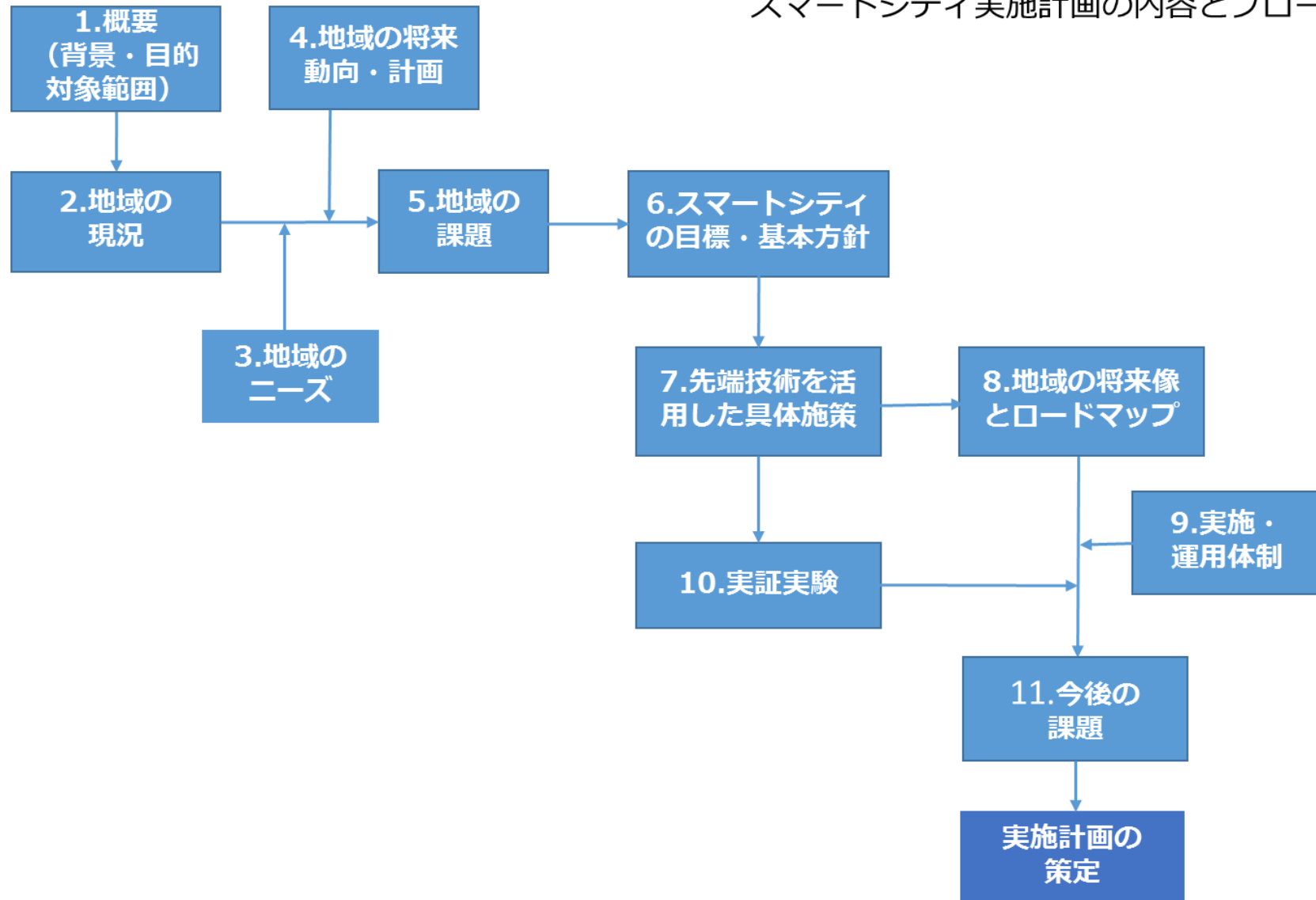


**南大沢スマートシティ  
令和3年度第1回協議会**

**2021年7月5日  
(10:00-11:00)**

#	次第
1	開会
2	座長挨拶（座長）
3	R2年度の報告
4	R3年度事業（案）
①	協議会・部会（部会長）
②	実証（プロジェクトリーダー（PL））
③	その他内容
5	閉会

スマートシティ実施計画の内容とフロー



# 現状と課題、目標・方向性と基本方針

## ■現状

- 駅周辺に都立大学、商業業務・公共施設の集積
- ニュータウンの計画的なインフラ（住宅団地、歩車分離ネットワーク、公園）

## ■課題

- 丘陵地の高低移動の負担軽減
- 住宅団地から駅・バス停までのアクセス交通の確保
- 鉄道とバス・タクシー・自転車等の円滑な乗換
- バス、タクシー、自転車等の地区内の快適な移動
- ICTや先進的モビリティサービスを活用した人や環境にやさしい地域交通の確保

- まち案内等情報発信によるアクセス向上
- 住民や来街者の回遊性・滞留性向上による賑わい創出
- 駅前及び周辺地区での効率的な荷物搬送・物流の実現

- コロナ禍における三密回避のための分散化
- だれもが安心して快適な地域の多様で即時性のある情報の活用や高度化
- 多様な交流や連携を促進する機会や場の創出
- 低炭素で環境にやさしく安全安心な質の高い地域拠点の形成

## ■目標（案）

都立大学や民間企業、地域住民をはじめ、多様な主体がまちづくりと連携し、最先端の研究とICT活用による住民生活の向上が融合した持続可能なスマートエリア

### □目標年次

- 短期：～2022年度まで
- 中期：～2030年度まで
- 長期：～2040年度まで

## ■方向性

### スマートなまち

先端技術活用や産学公連携により、持続可能な環境が創出されるまち

### 憩えるまち

多機能が駅前に集積し、歩きやすく、にぎわいが生まれ憩えるまち

### 多様性のあるまち

国内外の多様な人々が集い交流し、安心・快適に暮らせるまち

## ■先端技術の活用の基本方針

- ① 高低差移動の負担軽減、住宅地のアクセス向上による交流の促進
- ② 地区内交通の円滑化や回遊性の向上による地域活動の活発化
- ③ 環境にやさしい交通の利用による低炭素化
- ④ 交通情報の統合と一元化による安全で快適な移動の向上

- ① ICT等の新技術の活用による多様なリアルタイム最新情報提供
- ② 駅前エリアでの最先端技術・サービスによる地区内商業の活性化
- ③ 周辺エリアを含む物流や移動サービス向上によるまち全体の生活利便性の向上及びまちの賑わい創出

- ① コロナ禍における三密回避
- ② 新たな働き方や多様なライフスタイルを支える職住学的环境づくり
- ③ ひとが集う、安心して住み、働き、憩える環境づくり
- ④ 新技術を活用した災害に強いまちづくりや地域コミュニティの形成
- ⑤ 低炭素で自立分散型エネルギー環境づくり
- ⑥ 都立大学等と連携した新たな技術開発やライフスタイルの創造

# (参考) 将来動向・計画

## ■スマート東京実施戦略

- 特色：多摩ニュータウン西部の拠点において、学術研究（都立大学）とまちづくりが連携するエリア
- 目指す姿：最先端の研究とICT活用による住民生活の向上が融合した持続可能なスマートエリア

### ○先端技術を活用したまちづくりの検討

- ・多摩地域の課題解決や未来のまちづくりのため、産学公連携により5Gなど先端技術を活用した実証実験などを推進
- ・地元市、都立大学、地元企業とともに協議会を設立し、実証実験内容を選定

### ○先端技術を活用した実証実験

未来のまちづくりのために、自律走行可能なモビリティ等による移動円滑化の推進、5G通信技術やビッグデータの活用等による実証実験を実施

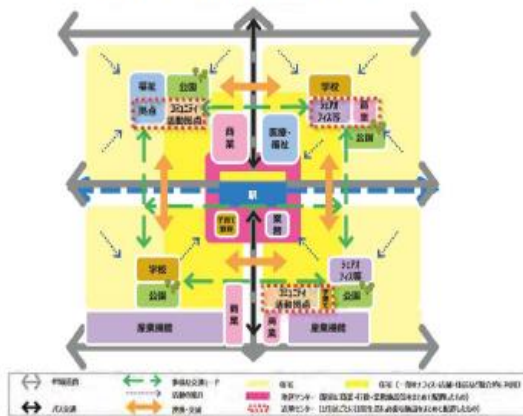


※出典 「スマート東京実施戦略」 (R2.3 東京都)

## ■多摩ニュータウン地域再生ガイドライン

### ●再生に向けた取組方針（主に取り組むべき事項）

- 地形の高低差に対応した高齢者の移動円滑化
- 空き施設などを活用した新たなビジネスを生み出す環境の整備
- 外国人の受入れに向けた多言語対応の促進
- 先端的な技術の導入に資する実証フィールドの提供
- 自動運転の実現に向けた検討



＜集約型地域構造の将来イメージ＞

※出典 「多摩ニュータウン地域再生ガイドライン」 (H30.2 東京都)

## ■南大沢駅周辺地区まちづくり方針

### ●まちづくりの基本方針

既に備わった優れた地域資源を最大限に生かしつつ、所有地の活用を主軸として、新たな生活様式の実現を支える都市機能の集積を活かしつつ、ゆとりのあるオープンスペースを活用した商業・にぎわい、新しい働き方・職住近接によるゆとり、日常生活の利便性、ビジネス環境、国際性、多様な人々の交流などの一層の充実・向上を図ることで、新しい日常に対応した当地区の持続可能な発展を誘導

### ●まちづくりの将来像

人々が出会い、交流し、新たな技術によって多様な住まい方・働き方・憩い方が融合し進化する、活力と魅力に満ちたまち

#### 将来像1 ～憩えるまち～

多様な機能が駅前に集積し、歩きやすく、ゆとりとにぎわいが両立し、活力が生まれるまち

#### 将来像2 ～スマートなまち～

先端技術活用や産学公連携により、新たな生活様式に対応した持続的な発展が可能な環境が創出される

#### 将来像3 ～多様性のあるまち～

国内外の多様な人々が集い、新たな交流・活動が創出され、安心・快適に暮らすことができるまちの対応



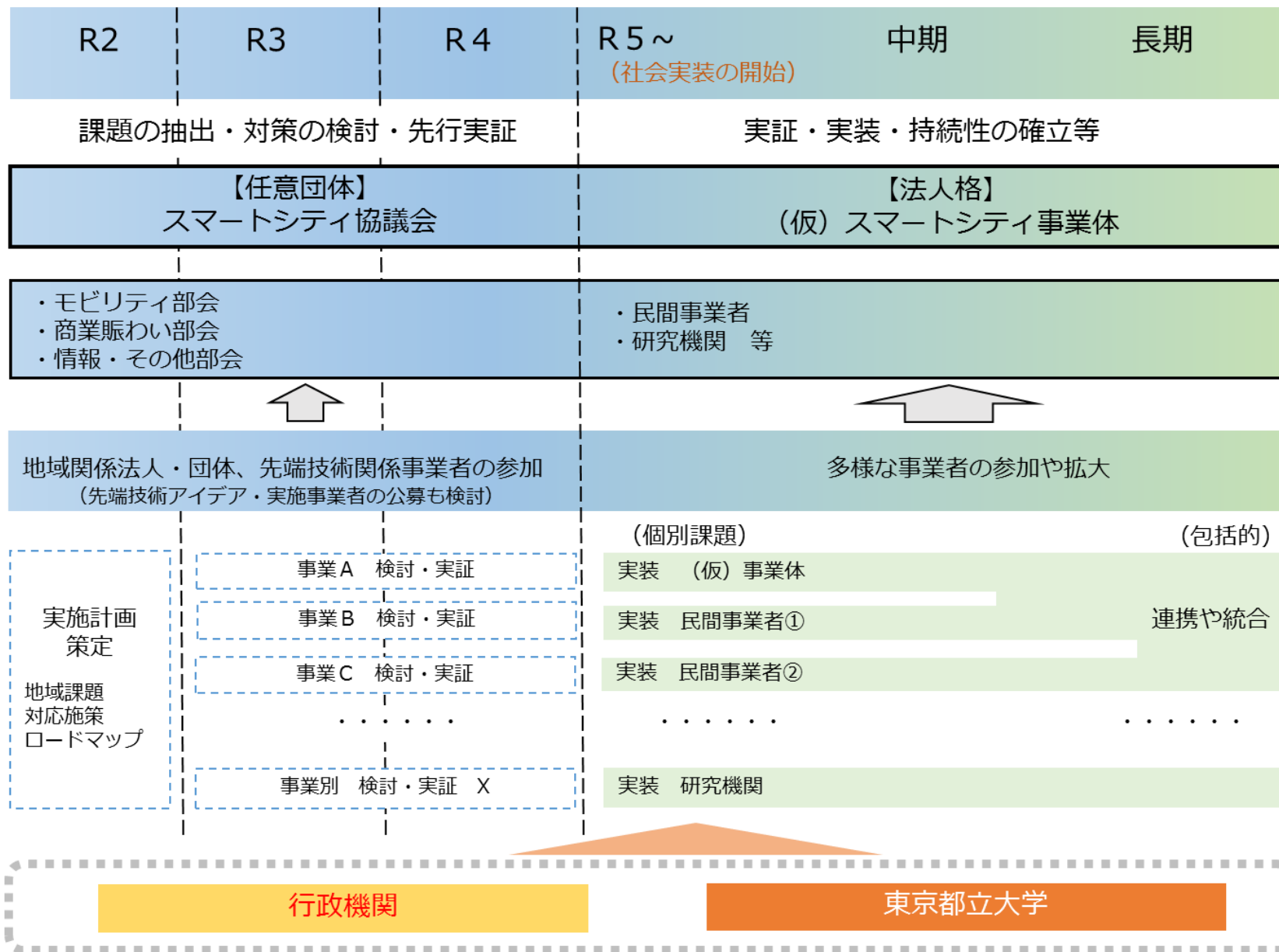
※出典 「南大沢駅周辺地区まちづくり方針（素案）」 (R3.2 東京都)

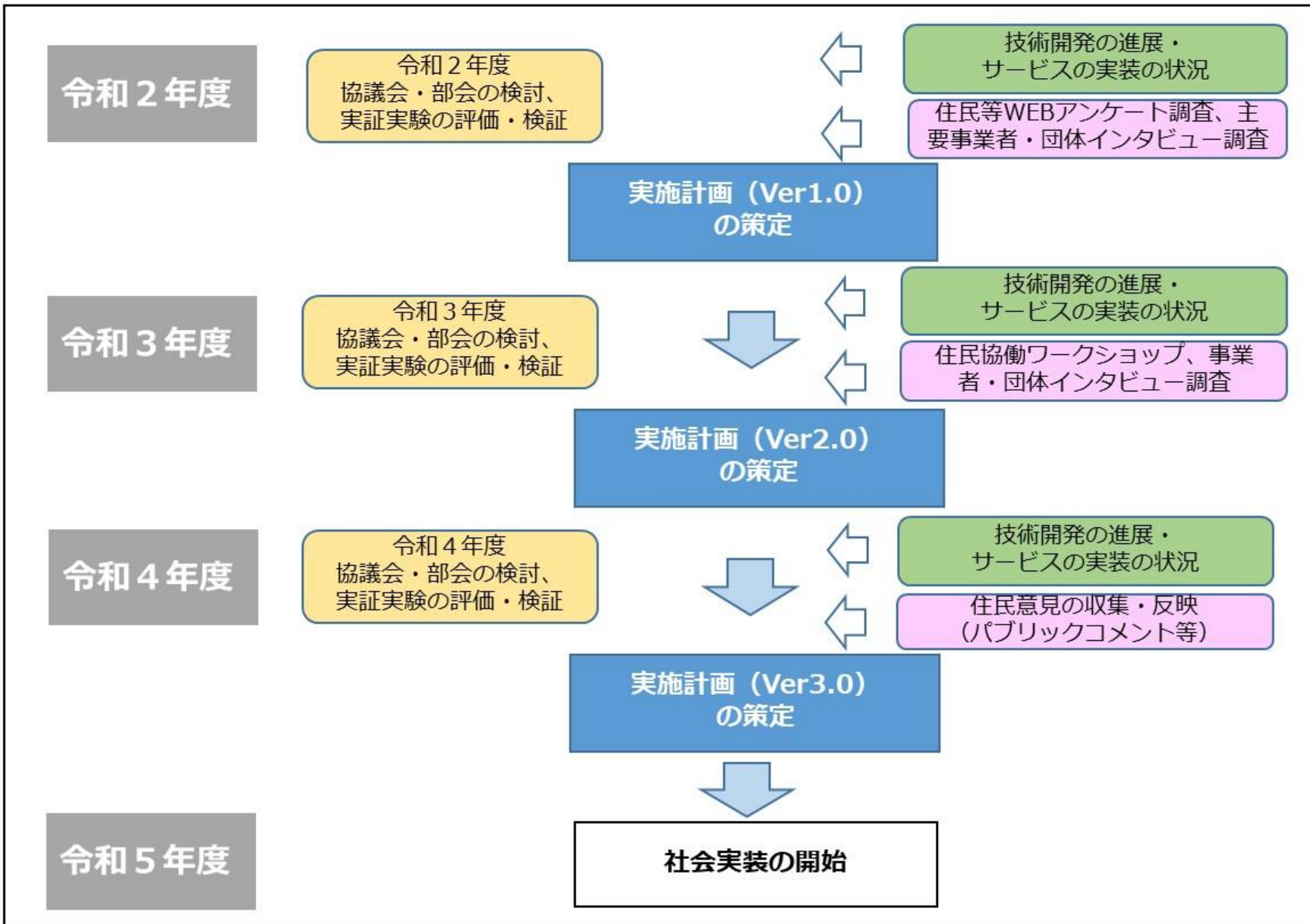
# 先端技術を活用した具体施策（案）

	分野	先端技術による具体施策（案）	
スマート	道路交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<a href="#">自動車いす</a>、<a href="#">電動シェアサイクル</a>、キックボード等の導入</li> <li>○自動運転EV（路線・循環・デマンドバス、タクシー、小型モビリティ等）の運行</li> <li>○<a href="#">MaaS</a>、TDM（カーシェア、P&amp;R等）、ITS（道路・交通情報等）の推進、公共交通情報の提供等</li> </ul>	
	情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<a href="#">5Gアンテナ</a>、<a href="#">スマートポール</a>の導入</li> <li>○AI・IoT、<a href="#">3Dマップ</a>の活用</li> </ul>	
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<a href="#">再生可能エネルギー（太陽光、蓄電池等）</a>の導入、地域エネルギーマネジメントシステムの構築</li> <li>○<a href="#">EV</a>、<a href="#">燃料電池車</a>、<a href="#">グリーンスローモビリティ</a>の導入</li> </ul>	
	物流	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<a href="#">自動運搬ロボット</a></li> <li>○無人宅配ロボット・宅配BOXの導入、ドローン配送</li> </ul>	
憩える	商業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<a href="#">自動運搬ロボット</a></li> <li>○<a href="#">アバター遠隔買物サービス</a>の導入</li> <li>○<a href="#">デジタルサイネージ店舗情報</a>の提供、無人販売の導入、決済の高度化</li> <li>○駐車場リアルタイム情報、駐車場誘導システム、駐車場シェアリングサービス</li> </ul>	
	余暇	<ul style="list-style-type: none"> <li>○AR・VRの自然・ツーリズム・スポーツ体験</li> <li>○<a href="#">公園・レクリエーション施設へのアクセス向上</a></li> </ul>	
多様性	業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<a href="#">サテライト・シェアオフィス</a>、<a href="#">コワーキングスペース</a>の設置</li> <li>○TDM（テレワーク・時差出勤）の推進</li> </ul>	
	教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT教育・研究、遠隔授業の導入</li> <li>○留学生等のコミュニティスペースの整備・多言語対応</li> </ul>	
	医療福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<a href="#">ポイントサービス</a>の導入</li> <li>○医療福祉施設へのアクセス手段の確保・利便性向上</li> </ul>	
	防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リアルタイム災害情報の提供</li> <li>○防災公園・避難ルートの整備、ビッグデータによる最適避難・誘導</li> </ul>	
	その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>○<a href="#">ビッグデータの活用・情報提供</a>（混雑回避・案内誘導）</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○<a href="#">スタートアップ企業の支援</a></li> <li>○空き家の利活用</li> </ul>

※青字は短期的に社会実装が可能と考えられる施策

# 今後の実施・運用（案）



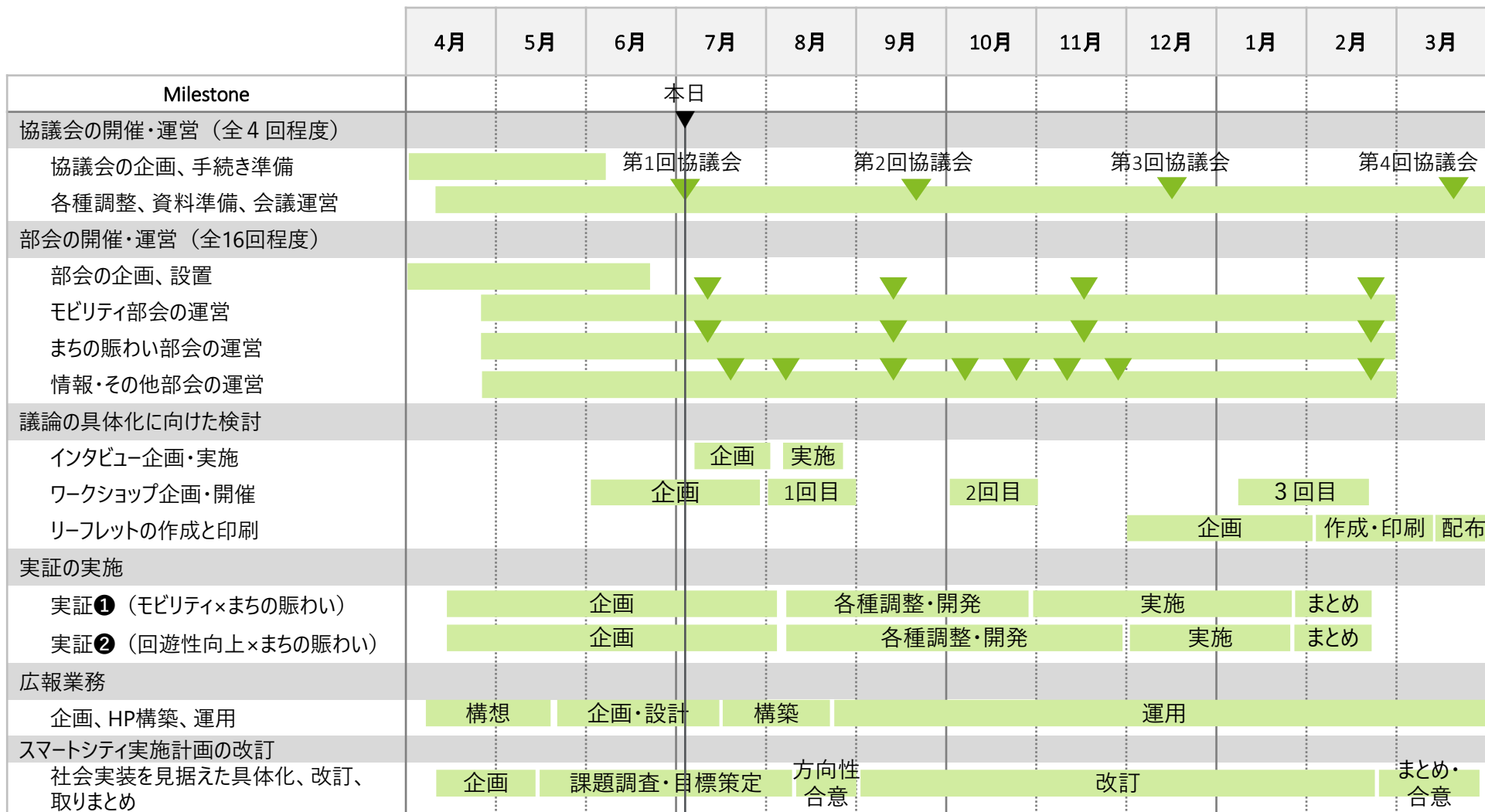




# R3実施内容と全体スケジュール（案）

今年度は、引き続き協議会・部会を開催していくと共に、社会実装を見据えた多様な実証を行います  
 また、WS・インタビュー等を踏まえて実施計画を改訂すると共に、取組内容をHP・リーフレットで発信します

【凡例】  
 ▼ 協議会、部会



## 協議会と部会の体制

議論をより有益に深めると共に、事業の実効性を高めるため、各部会ごとにプロジェクトリーダー（PL）を設置し、協議事項の設計と議論のリードを行います

協議会構成員

協議会構成員以外団体

赤字：新規参画団体

南大沢スマートシティ協議会 座長：清水教授（東京都立大学）	
部会長	協議会構成員
モビリティ部会	まちの賑わい部会
清水教授（東京都立大学） アドバイザー：小根山教授（東京都立大学）	岡村准教授（東京都立大学）
情報・その他部会	
石川特別先導教授（東京都立大学）	
PL	今後必要に応じて設置
附議事項 京王電鉄株式会社 <small>MaaS関連部門 (バス事業者)</small>	三井不動産株式会社
電動シェアサイクル事業： OpenStreet株式会社 自動運転バス関連： Boldly株式会社	附議事項 商業サービス関連： 株式会社バスプラ
通信サービス他： NTTドコモ株式会社 KDDI株式会社	商業施設等： 株式会社多摩ニュータウン開発センター 京王電鉄株式会社 株式会社イトーヨーカ堂 「元気な街」南大沢協力の会
東京都 (都市整備局：市街地整備部、総務部)	東京都 (都市整備局：市街地整備部、総務部)
八王子市 (都市計画部)	八王子市 (都市計画部、産業振興部)
	通信サービス他： NTTドコモ株式会社 KDDI株式会社 ソフトバンク株式会社 東日本電信電話株式会社 株式会社JTOWER
	商業・業務施設等： 株式会社多摩ニュータウン開発センター 三井不動産株式会社 <small>サテライトオフィス シェアオフィス事業部門</small>
	「元気な街」南大沢協力の会
	ローカル5G他： 東京都立大学
	東京都 (都市整備局：市街地整備部、総務部、 デジタルサービス局)
	東京都 (環境局：地球環境エネルギー部)
	八王子市 (都市戦略部、産業振興部)

昨年度と同様に、3部会の構成で、部会長・PLを中心に推進します

		モビリティ部会	まちの賑わい部会	情報・その他部会
位置づけ		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>地域の交通手段</u>の市民にとって<u>利便性の高い連携の在り方</u>の深彫り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 住民や来街者がより<u>安全に商業施設や地域資源</u>（公園や自然など）<u>へ集い、地域が活性化</u>する方策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各サービスの社会実装を見据えて<u>共通で必要なICT機能やサービスの検討</u>・深彫り</li> <li>■ <u>都立大等の5G実証との連携</u>や多様な先端技術・サービスの具体化</li> </ul>
R3年度実施内容		<ol style="list-style-type: none"> <li>① <u>モビリティの現況・ニーズ、課題の深掘り</u>対応策の検討</li> <li>② 課題解決に資する<u>実証実験の企画、推進</u></li> <li>③ <u>社会実装及び実施・運用体制</u>の検討</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① <u>まちの賑わいの現況・ニーズ、課題の深掘り</u>対応策の検討</li> <li>② 課題解決に資する<u>実証実験の企画、推進</u></li> <li>③ <u>社会実装及び実施・運用体制</u>の検討</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① <u>5G等最先端技術活用方法</u>の検討</li> <li>② <u>社会実装及び実施・運用体制</u>の検討</li> <li>③ その他領域の課題深掘り、将来像の議論</li> </ol>
推進体制	部会長	清水教授 <small>（小根山教授）</small> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術的観点・まちづくり観点・事業の方向性に基づく<u>方針導出</u></li> <li>・<u>実証実験、社会実装や実施・運用に向けた助言</u></li> </ul>	岡村准教授 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術的観点・まちづくり観点・事業の方向性に基づく<u>方針導出</u></li> <li>・<u>実証実験、社会実装や実施・運用に向けた助言</u></li> </ul>	石川特別先導教授 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術的観点・まちづくり観点・事業の方向性に基づく<u>方針導出</u></li> <li>・<u>実証実験、社会実装や実施・運用に向けた助言</u></li> <li>・他部会との連携の示唆・調整</li> </ul>
	PL	京王電鉄 <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>課題深掘りや対策検討</u>のリード</li> <li>・課題解決の<u>実証実験企画・推進</u>のリード</li> </ul>	三井不動産 <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>課題深掘りや対策検討</u>のリード</li> <li>・課題解決の<u>実証実験企画・推進</u>のリード</li> </ul>	今後検討状況や実施内容等により必要に応じて設置

# （参考）協議会・部会の検討の流れ（案）

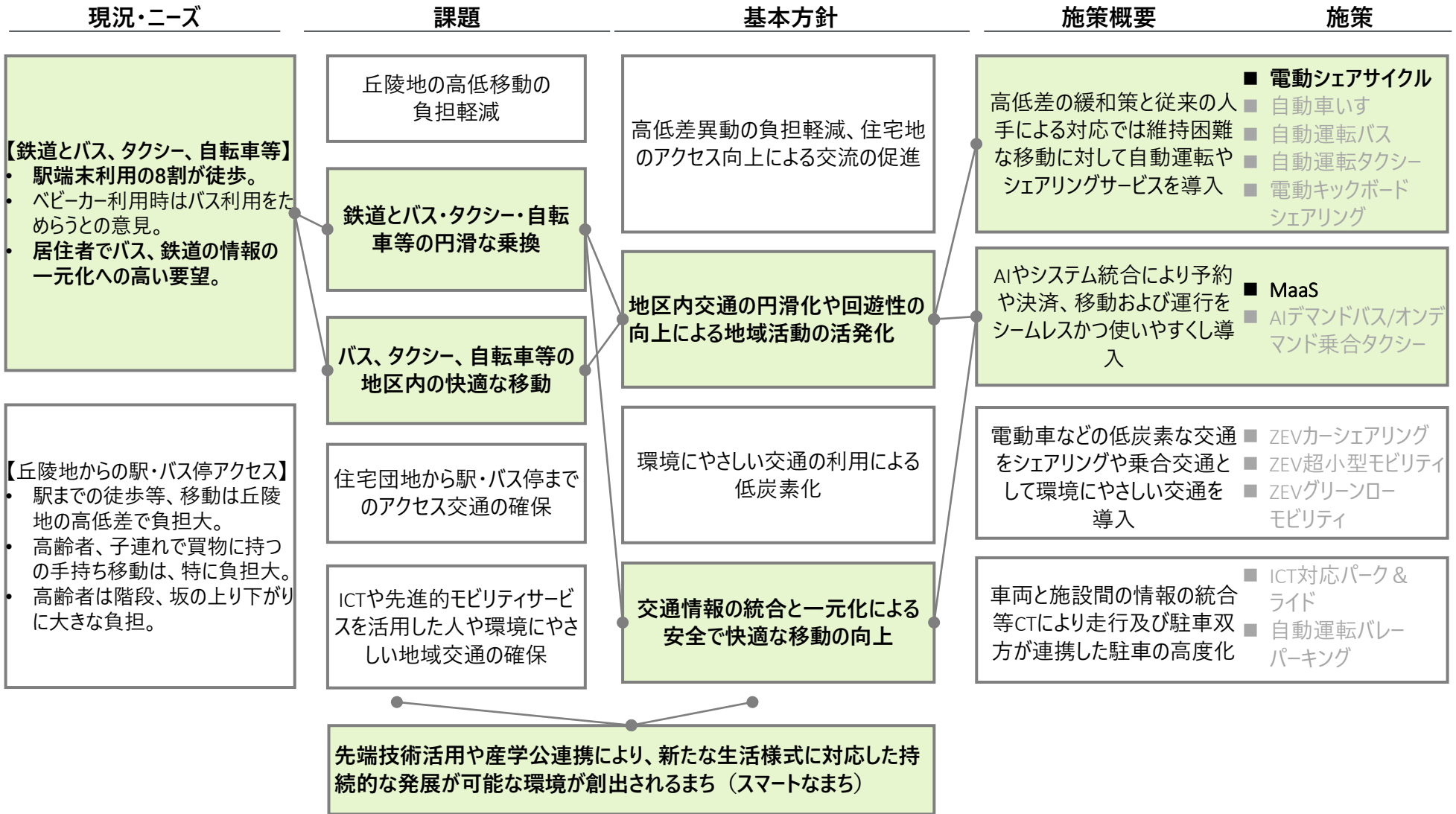
協議会（全4回程度）で部会（全16回程度）の方針を決定すると共に、部会で議論した内容を協議会に報告します



※部会は必要に応じて回数変更や合同開催等柔軟に運営する

# モビリティ実証の位置づけ（課題と施策の関係）

南大沢地域の交通状況やその課題、将来動向・計画や基本方針を踏まえて、MaaSや電動シェアサイクルの施策が導出されました

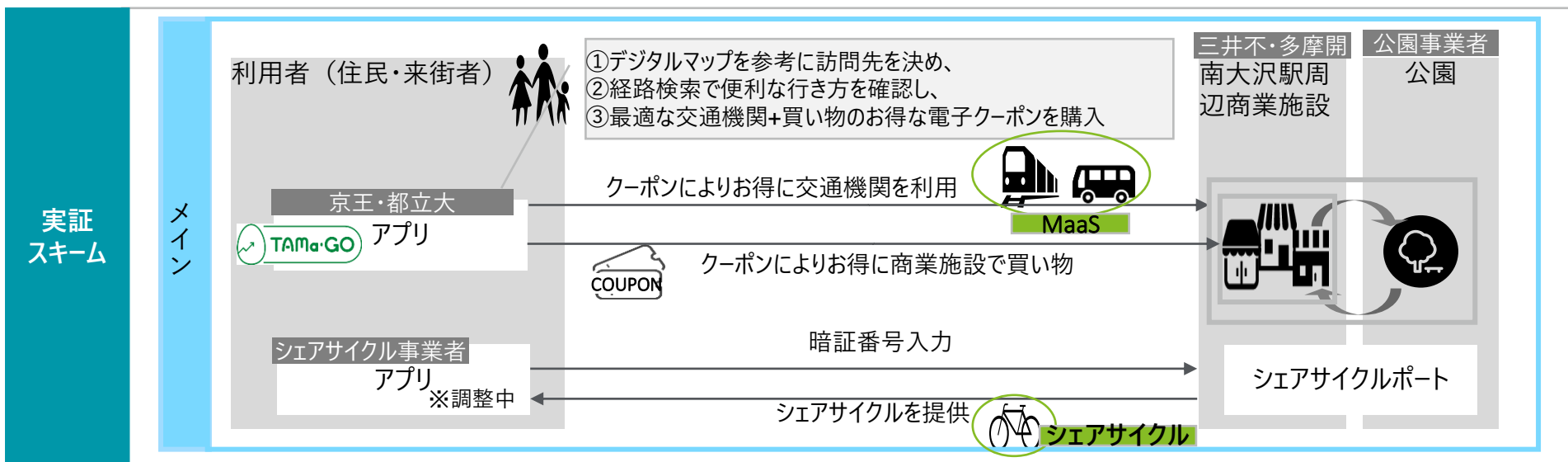


将来動向・計画

# 予定する実証① (モビリティ×まちの賑わい) (案)

丘陵地における地域のマルチモーダル化を核としたMaaSやシェアサイクル等のサービスの実証を予定しています

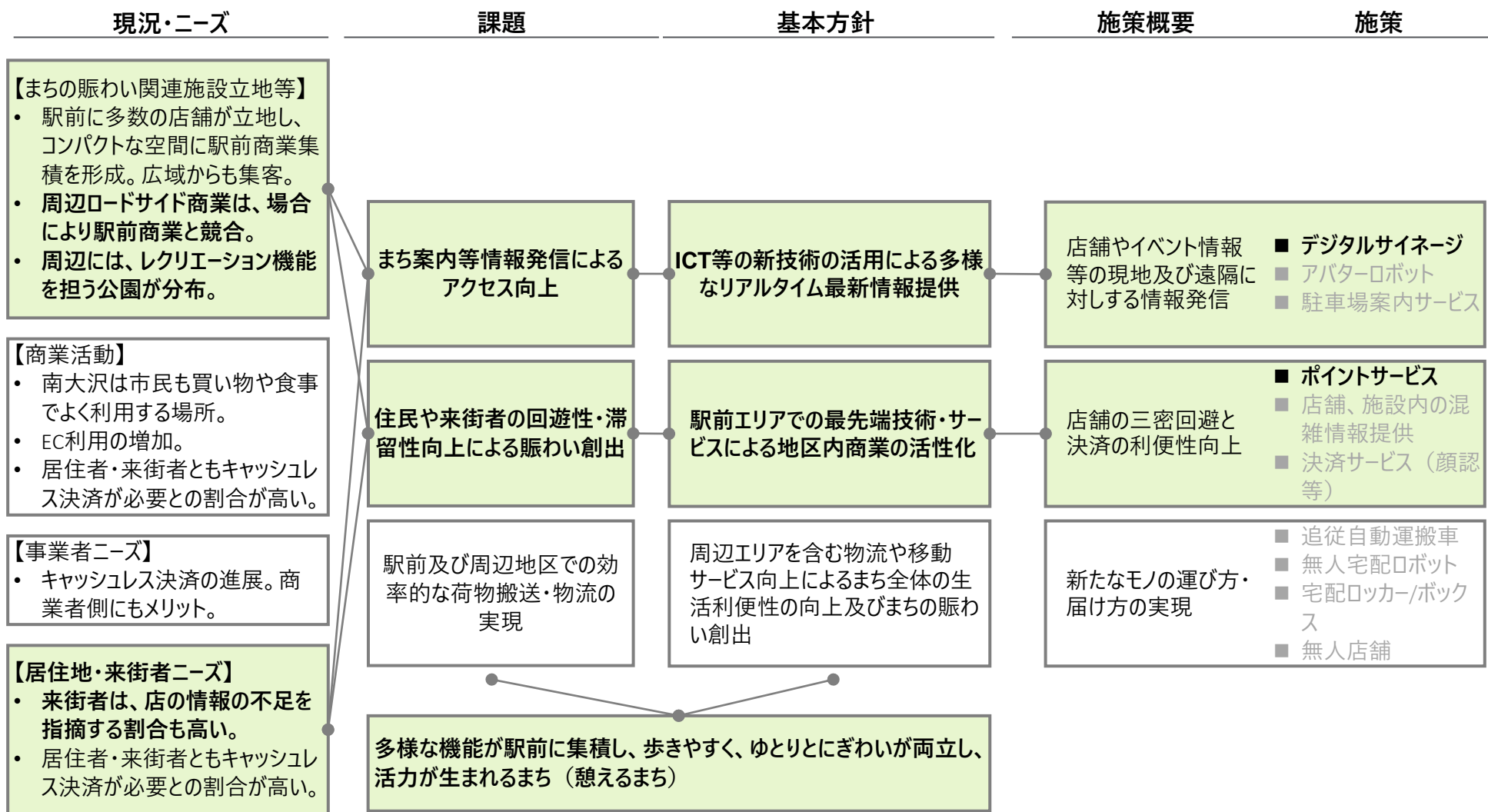
<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 丘陵地における移動の快適さ向上</li> <li>■ 訪問・外出目的創出</li> </ul>	<p>新規性ポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ シェアサイクルを活用した電子クーポン発行を含む <b>マルチモーダル化</b></li> <li>■ デジタルマップに都立大学生らによる地元独自の情報を反映した <b>地域情報のデジタル発信</b></li> </ul>
<p>対象</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 住民</li> <li>■ 来街者</li> </ul>	<p>検証項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ユーザーの満足度</li> <li>■ ユーザーの外出・買い物回数</li> <li>■ ユーザーの新規訪問先増減等</li> </ul>
<p>実証概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ MaaSのオンラインサービスプラットフォーム (PF: TAMa-GO) による、<b>デジタルマップ上の訪問スポットの提案・リアルタイムでの経路探索及び移動及び買い物を掛けた電子クーポンの活用</b></li> <li>■ <b>シェアサイクルサービスの提供</b></li> </ul>	<p>期間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2021年11月初旬～2022年1月末 (予定)</li> </ul>



※詳細は現在調整中

# まちの賑わい実証の位置づけ（課題と施策の関係）

南大沢地域のまちの賑わい状況やその課題、将来動向・計画や基本方針を踏まえて、デジタルサイネージやポイントサービスの施策が導出されました

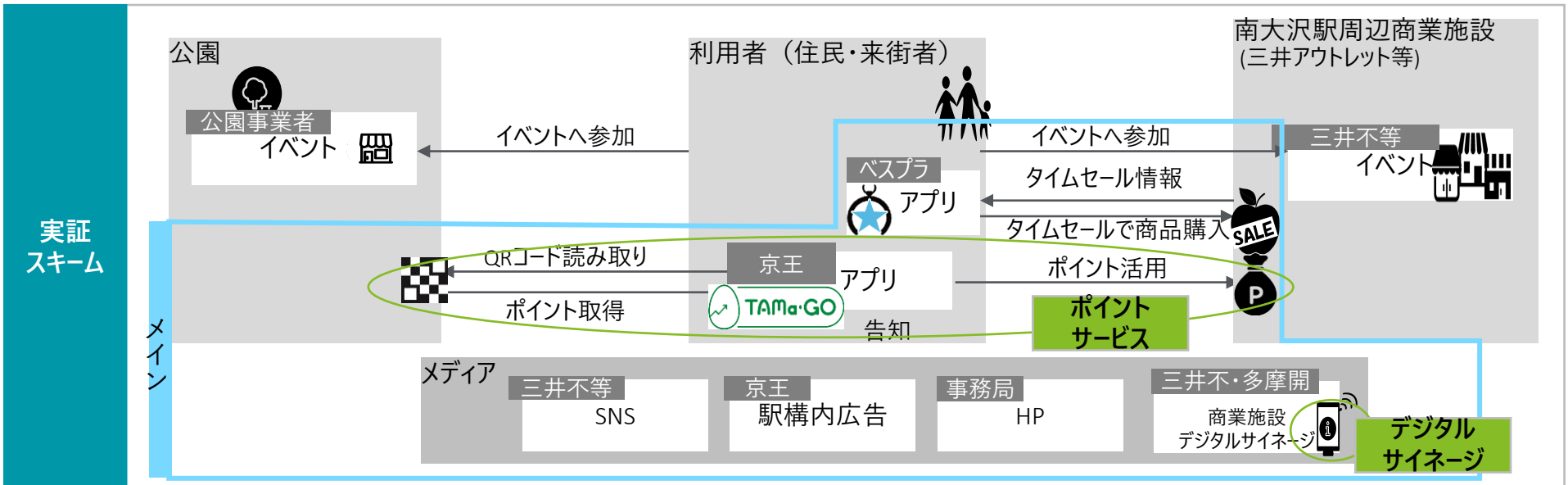


将来動向・計画

# 予定する実証②（回遊性向上×まちの賑わい）（案）

まち全体での「南大沢賑わい月間（仮）」を開催し、住民や来街者が駅周辺の商業施設や自然エリアの回遊を促すポイントサービスと各イベントを案内するデジタルサイネージを核としたサービスの実証を予定しています

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 訪問・外出目的創出</li> <li>■ エリア内の回遊性向上</li> </ul>	新規性ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 傾斜ポイント付与や、タイムセールの実施による<b>人流が少ない場所への回遊促進や移動時の混雑緩和</b></li> <li>■ <b>商業施設・交通機関・公園・大学等一体での周知・イベント開催によるまちの魅力発信</b></li> </ul>
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 住民</li> <li>■ 来街者</li> </ul>	検証項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人流が少ないエリアの人流増減、滞在時間増減</li> <li>■ イベント時期の人流増減等</li> </ul>
実証概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ まち全体での「南大沢賑わい月間（仮）」の<b>周知</b></li> <li>■ 公園への訪問やイベントの参画により<b>ポイントを取得し、商業施設でポイントを活用</b>した買い物体験提供</li> <li>■ 商業施設周辺にいる顧客への<b>タイムセール</b></li> <li>■ 公園や商業施設で開催する<b>イベントをデジタルサイネージ</b>により案内</li> </ul>	期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2021年11月初旬～2022年12月初旬（予定）</li> </ul>





## ワークショップ・インタビューの位置づけ（案）

住民・関係者からの幅広い意見収集、ニーズ把握を行うために、ワークショップとインタビューを実施します

### 実施背景

- 多くの住民・関係者から、より具体的かつ多様な幅広い意見を本事業に反映していく必要がある
- 地域の課題・ニーズを深掘り、対応を検討すると共に、地元の機運醸成や協力体制を構築する必要がある

※詳細は今後調整

### ワークショップ（案）

### インタビュー（案）

### 主目的

- 地域における課題・ニーズを収集・深掘り、対応の検討
- 実証実験における要望・意見収集、地元の機運醸成等

- 地域における課題・ニーズを収集・深掘り、対応の検討
- 実証実験における要望・意見収集、実証への参画・協力体制の構築等

### 対象

- 住民（子育て世帯、高齢者等）、町会・自治会
- 学生（留学生含む）等

- 南大沢周辺の主要施設の管理者・事業者等

### 概要

- モビリティとまちの賑わい毎に3回実施
- 主目的に関わる情報のインプットを元にした、チームごとの議論・意見出し

- テーマを問わず、インタビューを計8者程度実施
- 主目的に関わる情報のインプットを元にした、各者ごとにヒアリング・議論

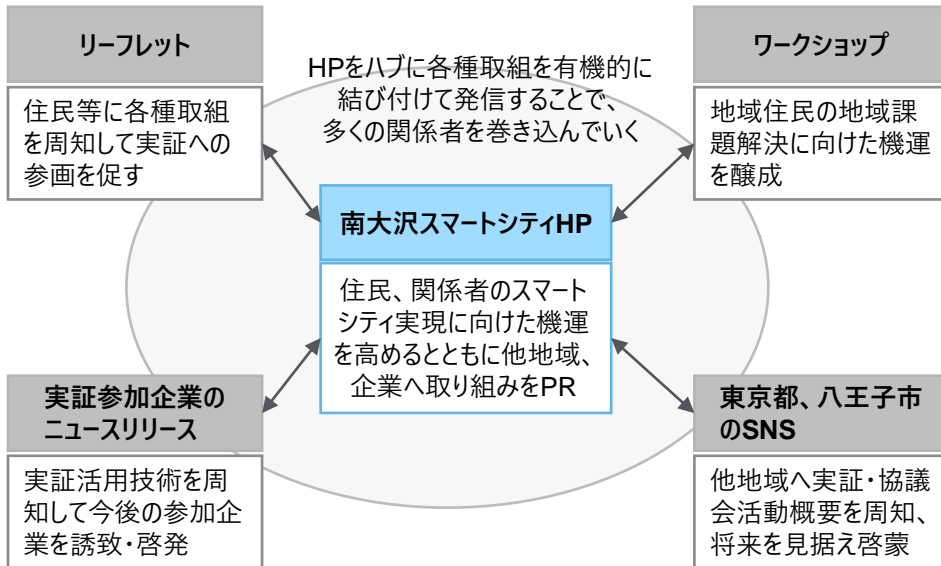
# HPの構成（案）

ホームページ（HP）をハブにリーフレット等の取組みの発信や情報集約をおこなうことで多くの関係者を巻き込むことを想定しています

## HPの目的・ターゲット

広報の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 南大沢スマートシティの機運を醸成し、その他エリアへの展開を踏まえた取組内容の周知</li> </ul>
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 南大沢周辺住民、来街者、企業等事業者及びその他エリアを含めたスマートシティに関心のある層</li> </ul>

## HPの位置づけイメージ



## HP構成イメージ

<b>【メニュー】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実施背景</li> <li>■ 開催報告等</li> <li>■ エリア</li> <li>■ 体制</li> <li>■ 参加申し込み/自由フォーム</li> </ul>	<b>トップページ</b> メニュー	実施背景 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロジェクトの全体イメージの掲載                         <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ プロジェクトネーム、将来イメージ</li> </ul> </li> <li>■ 本プロジェクトの実施背景を記載                         <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 南大沢スマートシティの概要</li> <li>✓ 本プロジェクトの目的</li> </ul> </li> </ul>	
	報告等	開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各回の会議資料を添付</li> </ul>
	実証	実証	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各実証（テーマ別）の関連資料を添付</li> </ul>
	エリア	エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地理的属性を記載                         <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 南大沢の歴史・背景</li> <li>✓ 南大沢の現状</li> <li>✓ 先端技術の集積状況</li> </ul> </li> </ul>
	体制	体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 協議会メンバーを記載                         <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各協議会構成員</li> </ul> </li> <li>■ 部会メンバーを記載(外部リンクの掲載は要相談)                         <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ モビリティ</li> <li>✓ まちの賑わい</li> <li>✓ 情報・その他</li> </ul> </li> </ul>
自由参加申し込み	自由参加申し込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本プロジェクトの取組に対する参加フォームを掲載                         <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ワークショップ</li> <li>✓ 実証実験</li> </ul> </li> <li>■ 本プロジェクトに対するご意見を記載するフォームを掲載                         <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自由記述欄</li> </ul> </li> </ul>	

画面スクロールに合わせて追従する想定

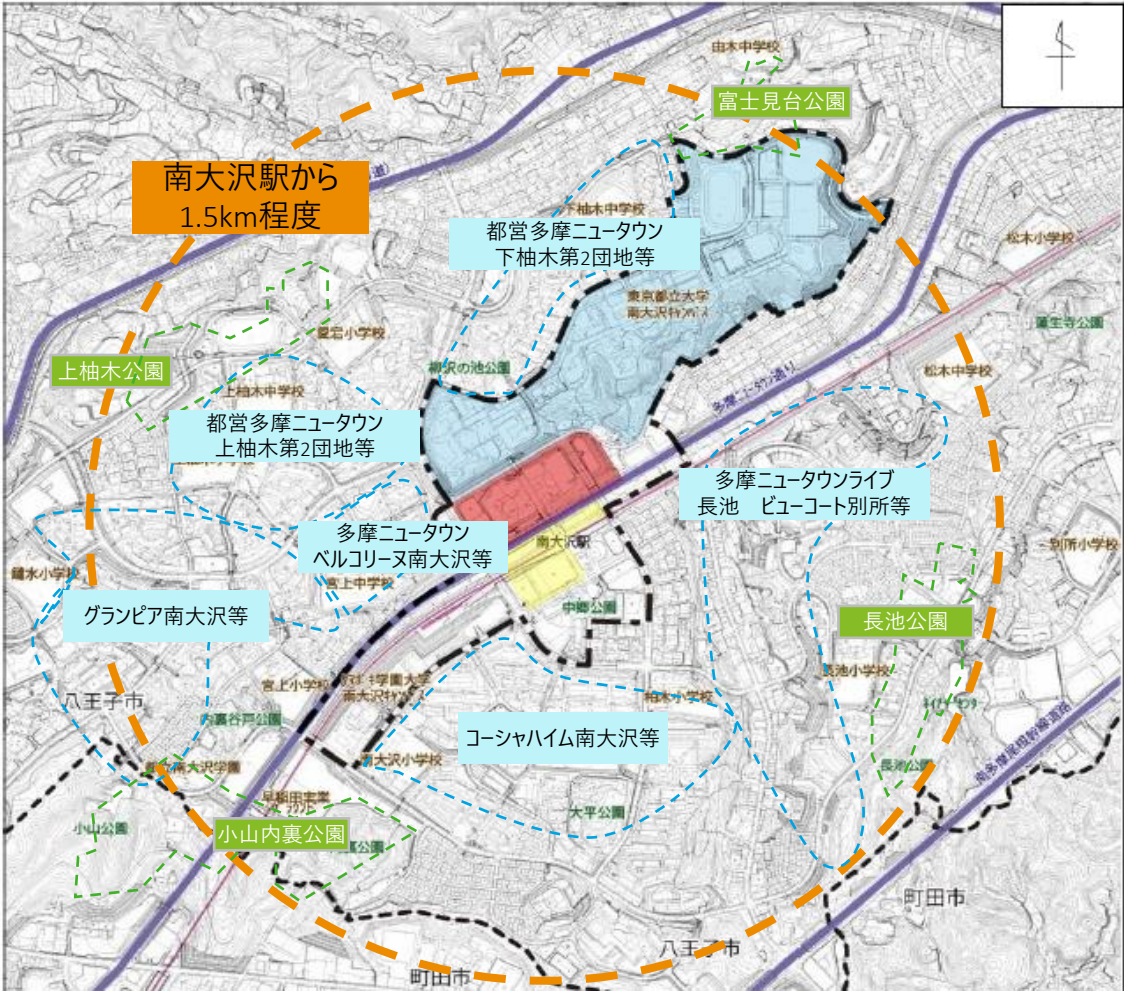
## 実施計画の改訂（案）

実施計画の本旨は変更せず、部会の議論内容、実証結果、WS・インタビュー内容を元に、各項目での内容追加や見直しを行うことを想定しています

項目	実施計画の改訂（案）
概要（背景・目的・対象範囲）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 上位計画（南大沢まちづくり方針含む）を踏まえた位置づけの追記、テーマの導出</li> <li>■ 検討エリアの拡大</li> </ul>
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「モビリティ・まちの賑わい」のカテゴリの再整理・補足</li> <li>■ 「情報・その他」：情報分野の深堀、その他分野の拡充</li> </ul>
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ WS・インタビューの結果を踏まえた内容補足</li> </ul>
目標・基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ テーマ毎の課題を踏まえたスマートシティの「目標」「基本方針」等の見直し</li> </ul>
具体施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 最先端技術等の事例を踏まえた施策の抽出</li> <li>■ 部会等で議論した施策の追加</li> </ul>
将来像・ロードマップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ モビリティ・まちの賑わいの本実証の追加</li> <li>■ 5G等の関連実証に関する議論の反映</li> </ul>
実証実験	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 部会等の討議内容を踏まえた内容の具体化</li> </ul>
実施・運用体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 部会等の討議内容を踏まえた内容の具体化</li> </ul>

# 対象範囲（案）

昨年度までの対象範囲を基本とし、周辺の公園等の地域資源や住宅団地を含むエリア（1.5km程度）へ対象範囲を拡大し、検討します



出典) 航空写真は、国土地理院ウェブサイト、地図・空中写真閲覧サービス